

新寄進せられたるものなるべし。

三月十七日。齋藤胤成、その次子眞將に鹿島郡萬行保東方地頭職を讓渡す。

【天野文書】

二四七

讓渡 能登國萬行保東方地頭職事

右地頭職、相副手繼狀并御下知除日狀等、限永代所讓與于子息七郎眞將也。當保雖爲狭少之地、胤成重代相傳私領也。男子一人之外不可分讓數子。有男子數輩時者、不謂嫡庶、守器量可讓一人。不可讓後家女子江所領。無男子之時者、女子仁天毛一人之外不可分讓數子。女子之跡相傳之仁同前。次永代不可沾却之。三ヶ條掃目、至于子々孫々、固可守此誠。若雖爲一事令違犯者、爲不孝之仁、眞將不可知行胤成之跡。於讓與眞將分者、自余得分親等可申給之。次保内濱田捌段漆一坪七田、并公文名橋内屋敷、孫太郎入道屋敷、爲後家分、女房一期之間所讓與也。一期之後者、可返付眞將之由、載後家分讓狀畢。但於彼一跡分、眞將致違亂煩者、後家永代可申

給也。凡於當保者、後家分之外不可有除。仍爲後日讓狀如件。

建武二年三月十七日

(胤成) 在判

三月二十日。後醍醐天皇、山城南禪寺に能美郡得橋郷今村を領せしめ給ふ。

【南禪寺文書】 山城

二四八

加賀國得橋郷内今村、山城山城、爲南禪寺領、可令知行給之旨、天氣所候也。仍執達如件。

建武二年三月廿日

左中將 在判

夢窓和尚

四月七日。後醍醐天皇、山城南禪寺に能美郡得橋郷佐野村を寄進し給ふ。

【南禪寺文書】 山城

二四九

加賀國佐野村事、所被寄附南禪寺也。早可知行給旨、依天氣執達如件。

建武二年四月七日

左中將 在判

夢窓上人方丈

四月廿一日。能登國衙、綸旨により、その目代をして鹿島郡永光寺に羽咋郡若部保を交付せしむ。

【永光寺文書】 鹿島郡

二五〇

(中院長定) 袖判

當國若部保地頭職事、所被付養光寺也。任去四月十五日勅裁、可被沙汰。雜掌於當保之由、國宣所候也。仍執達如件。

建武二年四月廿一日

左兵衛尉家久

能登國御目代殿

(四月十五日)の綸旨は今傳はらず。

【永光寺文書】

二五一

當國若部保地頭職事、所被付養光寺也。任綸旨國宣之旨、所奉打渡彼雜掌也。仍渡之狀如件。

建武二年五月六日

小野好連 在判

(第二通は便宜これを合叙す) 四月廿二日。太政官符を山城南禪寺に下して、同寺領能美郡得橋郷・石川郡笠間東保等を一圓不輸の地となさしむ。

【南禪寺文書】 山城

二五二

太政官符南禪寺

應停止國司守護使入部、并官使、檢非違使、院宮諸司及神人甲乙人等亂入、造諸社以下大小國役、關東鎮西早打役、當寺領遠江國初倉莊内江富郷吉永郷鮎河郷藤守郷、同國新所郷、加賀國得橋郷、同郷内佐野村佐羅村今村、府南社神主職并得南益延長恒等參名、同國笠間東保、但馬國池寺莊、播磨國矢野別名、同國大鹽莊、備中國三成郷事。

右得當寺住持沙門疎石去二月日奏狀稱、當寺者龜山法皇、草草居成佛園、勵敬志興祖宗、締梅既適尋常、尊崇亦無等匹。仍被降天澤廣大之宸翰、永令備寺領安全之龜鑑、今又賜五山最頂之綸旨、彌奉祈萬歲康寧之洪基